

ボールペン・ペンで記入（消せるボールペンは不可）

就学援助申請書
(認定期間：令和8年8月まで)

(宛先) 名古屋市教育委員会
名古屋市立 〇〇小 学校長

令和7 年 9 月 12 日

下記事項に同意した上、必要書類を添えて就学援助を申請します。

- ・審査のため、教育委員会が同居者全員の住民基本台帳および学齢簿情報を閲覧し、必要に応じて世帯状況を調査すること。
 - ・教育委員会が申請及び審査情報を就学援助の事務処理に活用すること。
 - ・現に就学援助を受けている者（就学援助の期間が満了する月が8月である者に限る。）が、当該期間中に、就学援助を受けないことを希望する旨を申し出ないときは、継続申請書を提出したものとみなすこと。
 - ・就学援助の給付の請求及び返納に関する事務を学校長に委任し、請求については委任した。
 - ・口座振替の登録が完了していない場合、就学援助費の領収を学校長に委任すること。
 - ・学校徴収金が未納の場合、就学援助費の領収及び学校徴収金への充当を学校長に委任する。
- ※名古屋市立学校へ転校した場合、上記の委任行為は転校先の学校長に移ることとします。

申請者の自署が必要
※印字・スタンプでの記名は不可
※子どもの自署ではありません

現在、実際に住んでいる住所を記入

申請者(保護者)氏名
(自 署)

名古屋 太郎

住所

町名、番地・番号、アパート・マンション名、部屋番号

名古屋市 中 区 三の丸三丁目1番1号

世帯状況（同居者全員及び別居の親権者）

氏 名	続 柄 (児童生徒から見て)	生 年 月 日	職業又は在学学校名・学年
フリガナ <u>ナゴヤ イチロウ</u> <u>名古屋 一郎</u>	児童生徒本人	<u>H26・5・1</u>	名古屋市立 <u>〇〇小</u> 学校 第 <u>5</u> 学年
<u>名古屋 太郎</u>	保護者 続柄 (<u>父</u>)	<u>S61・1・1</u>	<u>会社員</u>
<u>名古屋 花子</u>	<u>母</u>	<u>H3・11・11</u>	<u>パート</u>
<u>名古屋 二郎</u>	<u>弟</u>	<u>H28・4・2</u>	<u>名古屋市立〇〇小学校3年</u>
<u>名古屋 三郎</u>	<u>弟</u>	<u>R3・1・1</u>	<u>未就学児</u>
<u>愛知 五郎</u>	<u>祖父</u>	<u>S34・2・2</u>	<u>無職</u>

同居している方全員
(別居の親権者含む) の氏名を記入

「(児童生徒本人から見た)続柄」「生年月日」
「職業または在学学校名・学年」等もすべて記入

申請項目・理由

(該当する項目の番号を1つだけ○で囲んでください。)

- 生活保護を受けている
- 生活保護が停止又は廃止された
- 児童扶養手当が支給された
- ④ 所得が基準額以下である

申請項目に"○"

その他(生計維持者の傷病・失業(解雇・倒産)による収入激減、海外転入により所得証明書が入手困難など)
・その他事由での申請にあたっては、事情を具体的に記入した上で事前に学校に相談してください。
・離婚調停中等で別居かつ生計が別であるため世帯員に含めないなどの事情がある場合も具体的に記入してください。

世帯主が会社都合により解雇となったため

その他事情がある場合は記入

同意

就学援助の審査のため、教育委員会が、同居者全員の生活保護情報、児童扶養手当情報及び所得情報を閲覧し、必要な情報を確認すること及び、認定された場合、認定が継続する限り教育委員会がこれらの情報を取得することに同意しますか？

- A はい、同意します。 ※下記に世帯主が署名してください↓
※申請の際、証明書類は不要です。ただし該当データが取得できない場合は、証明書を提出していただきます(申請項目「4」で申請の場合、令和7年1月1日現在名古屋市に住民登録のなかった方の所得情報については証明書が必要です)。
※署名がない場合は同意がないものとします。

同意の有無に合わせて
A B いずれかに"○"

世帯主氏名(自署)

名古屋 太郎

(世帯分離している方がいる場合、その世帯の世帯主も署名してください。)

世帯主氏名(自署)

愛知 五郎

B いいえ、同意しません。必要な証明書類を添付します。

世帯分離している世帯主の自署が必要
※その世帯の世帯員も世帯状況欄に記入

備考

認定者番号